

ぷれいす東京 NEWS

Positive Living And Community Empowerment TOKYO



ぷれいす東京NEWS 2022年新年号

新年にあたって

新たな年を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか。

昨年、私たちの活動の中心であった二人の仲間を見送りました。いずれも突然のことでしたが、二回にわたりオンラインで追悼会を開催しました。事実を受け止めるためには時間が必要ですが、二人の足跡を忍びつつも、バトンを引き継いでいきたいと思っています。

また、2021年は、新型コロナウイルス感染症の流行から2年目を迎え、具体的に向き合っていくための対応を迫られる一年でもありました。

私たちの活動の柱は、「予防・啓発」、「直接支援」、「研究・研修」の3つです。

「予防・啓発」では、月曜～日曜日までの電話相談を事務所で対応します。多くのスタッフたちが、シフト運営に尽力してくれています。陽性者向けのフリーダイヤルの電話相談も同じです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中で、パーティション、空気清浄機などの設置、換気の確保をしつつ、試行錯誤しながらですが、スタッフたちの協力で休まずに続けることができました。

「直接支援」では、オンラインでのHIV陽性者のグループ・ミーティング運営、ZOOMを使った面談なども軌道に乗ってきました。1月からは、ハイブリット開催にチャレンジする予定です。オンライン化で、「地方や海外からも参加できるようになってうれしい」という声がある一方、「オンライン・ミーティングは魅力に欠ける」、「カラオケルームなどからしか参加できない」という意見もありました。

「研究・研修」では、行政や医療機関、学校などの研修会への講師派遣が徐々にオンラインで再開し始めています。また、研究部門では、「HIVと薬物使用」、「PrEP」、「職場とHIV検査」などに関する研究活動が継続しています。コロナ禍で保健所等のHIV検査が減少し、検査へのアクセスが難しいなか、コミュニティセンターのない地域の郵送HIV検査の配布に関するweb運営にも新たに取り組んでいます。

2022年、新しい年が始まりました。新型コロナウイルス感染症の新たな試練が予見される中で、改めて、私たちが地域の中で担うべき役割とはなんなのか、考える作業が続くと思われま

す。こんな時だからこそ、皆様と繋がりつつ、この時期を乗り越えていければと思います。

みなさま、今年もふれいす東京の活動をご支援いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

2022年元旦



認定NPO法人 ふれいす東京
代表 生島 嗣
スタッフ一同

[\[陽性者と家族の日記\]](#)

性別、年代、セクシャリティ、住んでいる地域など、さまざまなHIV陽性者が日記をつづっています。HIV陽性者の何でもない日常や、ちょっとした生活のかけらに触れてみてください。

[\[スタッフ日記\]](#)

ふれいす東京には、いろいろな人がかかわっていて、さまざまな活動がおこなわれています。ニュースレターや活動報告書ではお伝えできないひとりひとりの思いや、日々の風景があります。

VOICE

HIVやセクシュアル・ヘルスにまつわる、さまざまな「VOICE/声」を掲載しています。

寄付・応援

ふれいす東京の活動は、HIV陽性者たちのサポートに欠かせないものです。皆様の協力が必要です。クレジット決済もできません。ふれいす東京への寄付は所得税の寄付金控除の対象です。

相談窓口

感染不安の電話相談、HIV陽性者・パートナー・家族など周囲の方、および判定保留・確認検査待ちの方のための電話相談、ゲイによるゲイのための電話相談があります。

Living with HIV

身近な人からHIV陽性と伝えられたあなたへ

Living with HIVは、HIV陽性者のパートナー・家族・友だち・職場の仲間などの、24編の手記と、基礎知識データを取りまとめた短いコラムなどからなります。



登録解除・アドレス変更はこちら [登録・解除フォーム](#)

認定NPO法人ふれいす東京

〒169-0075 [東京都新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ403](#)

[03-3361-8964](tel:03-3361-8964)（月～土12-19時 ※祝祭日を除く）

Webサイト <http://www.ptokyo.org>

メールでのお問い合わせ office@ptokyo.org